桐生市立商業高等学校（定時制）　学　校　評　価　一　覧　表　②　（令和４年度版）

（様式２）

羅針盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
Ⅰ　特色ある学校づくりに努めていますか。	1　特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が85%以上である。	A	A	A	・ほとんどの生徒と保護者が楽しい学校生活を送っていると感じている。教職員や級友との信頼関係が醸成されていると思われる。引き続き、安心安全な学校生活が送れるよう、温かなふれあいをとおした学校本来のあるべき姿を全職員で確認・評価をしながら、現在の取組を継続する。 ・行事の運営では、生徒会本部役員を中心に、生徒がより主体的に活動する場面を増やせるよう努めている。	・定時制の生徒ひとり一人に寄り添い、生徒と教員間、生徒同士間に信頼関係が構築される指導を継続してもらいたい。	・総合的な探究の時間では、学校目標に沿って現在の取り組みを継続しながら、自己の課題を発見し、解決していけるような資質と能力の育成を目指す。 ・生徒会行事や学校行事において、生徒会本部役員による企画・運営を中心に据えた、生徒主体の取り組みをさらに推進させる。
		②球技大会や地区体育大会などの特色ある学校行事に生徒の85%以上が満足している。	B	A	A			
		③総合的な探究の時間(ふれあいの時間)を主体的に取り組んだと自己評価している生徒の割合が85%以上である。	A	A	A			
Ⅱ　生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2　生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④授業に対する生徒の評価を実施して、授業改善を推進する。「授業が分かりやすい」と回答する生徒の割合が90%以上である。	A	A	A	・きめ細やかな学習指導の結果、生徒の９割以上が「授業が分かりやすい」と回答している。 ・商業科として、専門知識の習得及び各種検定試験に合格する体験を４年時まで継続して積ませ、一人ひとりの生徒が自信をもって進級、卒業できるよう丁寧に指導する。 ・コロナ禍が続き、多欠席に伴う成績不振と思われる生徒がいた。生徒の生活習慣改善の方策等を教職員で共有し、指導する。	・定時制の生徒として資格取得等の具体的な目標に向かって努力することの大切さを引き続き指導してもらいたい。	・生徒同士の学び合いを促し、クラスの全体が一体感を持って学習する雰囲気を醸成させていく。 ・４年次まで各種検定に挑戦させ、生涯を通して学ぶ姿勢とスキルを育成していく。 ・定期考査、検定試験前の学習環境の整備に努め、個別指導のより一層の充実を図る。
		⑤簿記や情報など資格取得に向けた指導に生徒の85%以上が満足している。	A	A	A			
	3　生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥定期テストや検定試験のために学習をする生徒の割合が85%以上である。	A	B	B			
		⑦成績不振科目のある生徒の割合が5%未満である。	C	D	D			
Ⅲ　生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4　組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧職員打ち合わせ等において、生徒に関する情報交換を毎日実施している。	A	A	A	・全職員による連絡調整会議を毎週行い、生徒の様子を共有することで、共通理解のもと、全生徒を指導できる体制を確立している。生徒一人ひとりを大切にし、その生徒にとって必要な声掛けを実施している。 ・いじめアンケートを毎月実施し、生徒の小さな変化を見逃さないよう努めている。 ・登校時の検温と健康観察を毎日実施している。欠席、遅刻を繰り返す生徒には、継続的に声をかけ、保護者連絡を含め、丁寧に指導する。 ・外部講師を活用して情報モラル教育を推進するとともに、LHRで対人関係のスキルについて学ぶなどして、生徒が円滑な交友関係を築けるよう努めている。	・生徒のために職員一丸となって指導にあたっていただき、感謝している。今後は更なる組織力の向上に期待したい。 ・いじめの発生防止と学校内での事故防止に努めてもらいたい。特にSNSによるやりとりが、いじめや事故につながることがないよう、家庭とも連携してご指導いただきたい。 ・個々の生徒の健康観察や消毒作業等、生徒の健康管理にもご配慮いただいた。今後も引き続き生徒への丁寧な観察をお願いしたい。	・全職員の力を結集して、いじめの未然防止と早期発見・解消に努める。 ・欠席率､遅刻率の数値目標の達成を目指す。コロナ禍もあるが、遅刻、欠席が特定の生徒に偏る傾向がある。欠席、遅刻を習慣化させないよう、個々の生徒の特性に応じた具体的な取り組みを実践する。 ・引き続き生徒に関する情報交換を密にして緊急時の対応やトラブルに対応する体制を構築する。
		⑨学校の生活指導（あいさつ、頭髪・服装、遅刻・早退指導等）が適切であると回答する生徒・保護者の割合が90%以上である。	A	A	A			
	5　学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑩「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っている」と認識している生徒が90%以上である。	A	A	A			
		⑪いじめの解消率が100%である。	A	A	A			
	6　生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫欠席率が10%以下、遅刻率が5%以下である。	A	B	B			
		⑬交友関係がうまくいっていると感じている生徒の割合が90%以上である。	A	A	A			
Ⅳ　生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7　計画的な指導を行っていますか。	⑭「自己の生き方」と「将来の職業」とを関連させた進路指導を行っていると、生徒の90%以上が評価している。	A	A	A	・１年次からキャリア教育を推進している。外部講師を積極的に活用し、自己理解から働くことへの動機付けを促すとともに、日々の学びを充実させることで、進路実現に繋げていけるよう指導する。 ・４年次では自らを分析して考えさせ、自己を表現する面接指導等を実施した。早い段階から進路選択を意識させ、その実現に向けた取り組みを続ける。	・定時制生徒一人ひとりに対して適切な進路指導を行い、進路実現を実現してもらいたい。	・キャリアパスポートの改善を図る。活動内容と成果を適切に評価し直すことで、効果を高めていく。
	8　生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮「将来の目標を持ち、積極的に取り組んでいる」生徒が、80%以上である。	C	C	C			

Ⅴ　開かれた学校づくりに努めていますか。	9　家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑯保護者面談等に積極的に参加している保護者の割合が80%以上である。	B	B	B	・１学期に全保護者を対象に保護者面談を実施した。その後も随時実施している。引き続き保護者との信頼関係づくりを推進したい。 ・生徒の活躍や成長の様子等を随時、Webページで紹介し、中学生を始め、外部に向けて積極的に発信していく。	・生徒の活躍等、最新の情報提供を充実させてほしい。	・生徒の様子や成長の過程などが中学生にもしっかりと伝わるよう、Webページを工夫し、積極的に発信する。
		⑰Webページの更新があったとき、速やかに更新している。	B	B	B			
		⑱Webページを見たことがある保護者の割合が80%以上である。	C	C	C			
Ⅵ　教育のデジタル化に努めていますか。	10　ICTを活用した指導を行っていますか。	⑲ＰＣやプロジェクターなどを活用し、授業を行っている教員が100%である。	B	B	B	・教室のWi-Fi環境を活用し、わかりやすい授業となるよう取り組んでいる。生徒用タブレットPCについては、より活用が促進されるよう、各授業における工夫や課題など、職員間で情報を共有する。 ・商業科の授業を中心に、パソコンの基本的な操作及び発展的な学習を目指す。 ・ICT活用のための情報の共有化を促進するとともに、資料の閲覧ではPDFデータ等の電子データを用いるなどして、業務の効率化を図っている。	・社会のデジタル化はますます進展し、もはや後戻りすることはない。次代を担う高校生が社会人として活躍できるように、ICT教育を一層推進し、学びの質の向上にも努めてもらいたい。	・ICTの効果的な活用について、職員間で定期的に情報共有を図りながら、生徒用タブレットPCの積極的な活用による個別最適化を目指した授業展開となるよう、各授業でより一層の工夫を行っていく。 ・ICT活用を通して、情報の共有化と業務のスリム化を図り、多忙化解消を促進する。
		⑳Wordで文書を作成したりExcelで表を作成したりすることができる生徒が100%である。	A	A	A			
	11　ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉑校内ネットワークを通して、分掌業務でＩＣＴを活用できている教員が100%である。	A	A	A			

※　自己評価・外部アンケート等：個々の具体的数値目標について評価し、次に従いアルファベットで記入した。
　Ａ：数値目標達成　Ｂ：約80%達成　Ｃ：約60%達成　Ｄ：約40%達成